

通信技術の進展を支える学生論文特集の発行にあたって



通信技術の進展を支える学生論文特集編集委員会

委員長 高橋 応明

通信ソサイエティでは、総合大会、ソサイエティ大会において「論文の書き方講座」を開催している。この講座にて、私は講師の一人として、「論文をまとめる作業は研究の一貫として必須であり、まずはやってみよう」と話している。本特集は、論文の書き方講座を聴講し実践してみようと思った学生たちに、使い慣れた日本語で論文をまとめる場を提供するという意図がある。

第5回となる「通信技術の進展を支える学生論文特集」では、過去の同特集と同様に特集テーマとして技術分野を絞ることなく、広く通信技術全般を対象とし、学生が筆頭著者となっている論文を募集することとした。今回もこれまで同様に和文論文誌編集委員全員で本特集の編集委員を務めた。お陰様で、本特集に投稿された論文数は、論文37編、レター2編である。投稿して下さった著者の思いに応えるべく、判定にあたっては、学生の潜在能力を勘案した上での慎重な委員会審議、幹事団による全論文の通知文チェックなどを行った。厳正な査読の結果、最終的には論文16編、レター1編を採録することになった。残念ながら不採

録となった論文も、再投稿を期待して不備な点などを丁寧に指摘させてもらった。また、若い学生の研究活動を更にエンカレッジする目的から、採録論文の中から、特に優れた3編を優秀論文賞として選定した。和文論文誌BのWEB (<http://www.ieice.org/cs/jpn/JB/>) 上で受賞論文を確認して頂きたい。

最後に、本特集を発行するにあたり、御投稿頂いた方々、論文査読に御協力頂いた査読委員の方々、企画及び編集に御尽力頂いた編集委員各位、並びに事務局の奥村様に深く感謝申し上げる。この特集企画が今後も継続的に実施され、躍進する多くの学生のFirst Stepとして利用されることを期待したい。

なかはし まきはる
高橋 応明 (正員：シニア会員) 1989東北大卒、1994東京工業大学大学院博士課程了。同年、武蔵工大助手、1996同大講師、2000東京農工大助教授、2004千葉大学フロンティアメディカル工学研究開発センター助教授、2007同准教授、現在に至る。博士(工学)。平面アンテナ、RFID、人体と電磁波の研究に従事。2009本会通信ソサイエティマガジン論文賞受賞。2009、2011本会通信ソサイエティ論文賞優秀論文賞受賞。2011本会和文論文誌B編集委員長。IEEEシニア会員、著書『電磁波工学入門』『RFID用アンテナ技術の基礎と応用設計事例』など。

通信技術の進展を支える学生論文特集編集委員会

- | | | | | | | | | | |
|----------------|-----|-------|---------|--------|--------|--|--|--|--|
| 委員
幹事
委員 | 委員長 | 高橋 応明 | | | | | | | |
| | 幹事 | 佐波 孝彦 | | | | | | | |
| | 委員 | 石川 博康 | ・王 建青 | ・大川 貢 | ・大島 正明 | | | | |
| | | 大西 輝夫 | ・小川 猛志 | ・小川 剛史 | ・可児 淳一 | | | | |
| | | 笹森 崇行 | ・塩川 茂樹 | ・末田 欣子 | ・末次 正昭 | | | | |
| | | 瀬戸 一郎 | ・平 明德 | ・高橋 徹 | ・寺島 美昭 | | | | |
| | | 中野 雅之 | ・西森 健太郎 | ・濱住 啓之 | ・船越 裕介 | | | | |
| | | 星田 剛司 | ・森山 敏文 | ・柳生 智彦 | ・山井 成良 | | | | |
| | | 吉原 貴之 | ・和田 忠浩 | | | | | | |